

## 30 年度知事広聴での御意見に対する主な対応状況

いただいた御意見等	対応
<b>○富士山世界遺産センターの音声ガイドの利用（6月8日 焼津市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山世界遺産センターを外国人 35 人とともに訪問した際、音声ガイドをスマホから利用しようとしたが聞くことができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多人数が同時接続する場合には複数のアクセスポイントに分散するよう案内する。</li> <li>・接続方法の案内をわかりやすく改善する。</li> <li>・不具合発生情報を館内職員全員で共有し、来館者への案内に活かしていく。</li> </ul>
<b>○焼津ブランド力の維持（6月8日 焼津市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水産都市焼津」のブランド力の維持のため、県の力を貸してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発の技術支援や、ふじのくに新商品セレクションなどのブランド化による知名度向上等により、焼津ブランドの維持を支援していく。</li> </ul>
<b>○ふじのくにシャツの全国的PR（7月13日 島田市、川根本町）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ご当地シャツサミット」など、ふじのくにシャツを全国にPRしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット販売や全国のバイヤーが参加するイベントへの出展により、全国にPRしていく。</li> </ul>
<b>○障害者差別解消法の啓発（7月13日 島田市、川根本町）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者差別解消法啓発のため、作成したガイドブックの活用促進や、県が行う研修会等で講演を行いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成 30 年度障害を理由とする差別解消推進県民会議」において、発言者の事例発表の場を設定。</li> </ul>
<b>○アウトドアレジャーの聖地づくり（7月13日 島田市、川根本町）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大井川流域をサイクリングを含めたアウトドアの聖地にしたい。県に応援願いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖地づくりに向け、地域の体制整備や誘客促進等の支援について、市を交えた打合せを実施。</li> </ul>
<b>○地域の文化財保護に向けた市町への指導（7月13日 島田市、川根本町）※傍聴者</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統ある木造校舎が取り壊されているが、ユネスコエコパークや美しい村連合の理念を守り、これ以上文化を壊さないよう、県として正しく町を指導して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県文化財保護課が、文化財保護に向けた市町への指導を適切に行っていく。</li> <li>・中部地域局が、町と連携し、地域資源を活かしたまちづくりに協力する。</li> </ul>
<b>○地域活性化のためのサテライトオフィスの整備（8月7日 伊豆市、伊豆の国市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家をサテライトオフィスとして活用したらどうか。</li> <li>・サテライトオフィスの誘致などにより、若者の雇用の場も確保できるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度、ICT企業のサテライトオフィス誘致にも活用できる補助制度を整備。</li> </ul>

いただいた御意見等	対応
<b>○観光と防災を両立したまちづくり（8月7日 伊豆市、伊豆の国市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光と防災を両立したまちづくりについて、今後、協議会で議論をしていくが、行政も実現に向け協力していただきたい。</li> <li>・松原公園の避難タワーの建設など様々な構想がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松原公園の避難タワー建設を含め、市の計画策定に対し、必要な技術的助言を行う。</li> <li>・全国に先駆けた「観光と防災を両立したまちづくり」実現のため、新たな制度設計について、国に働きかけを行っていく。</li> </ul>
<b>○市民活動の推進（10月18日 森町・袋井市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動が退職後の過ごし方の選択肢に上るよう、会社の研修で取り上げるなど、市民と団体のマッチング機会が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民を対象としたNPO出前講座等を活用し市民活動への参加を幅広く呼びかけていく。</li> <li>・ホームページサイト「ふじのくにNPO」において、協働相手を探す仕組みを提供するなど、出会いのきっかけとなるような情報提供を実施。</li> </ul>
<b>○暑さに強いわさび品種の開発（11月28日 東伊豆町・河津町）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆農業研究センターで暑さに強い品種の開発をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆農業研究センターは、生育の良さとともに耐暑性のある新品種の育成に取り組んでいる。新品種育成のためには、暑さに強い遺伝資源が必要であり、これらの探索について青年部を中心とした生産者の協力を得ながら開発を進めていく。</li> </ul>
<b>○小規模事業者の活動の周知（1月16日 湖西市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業者の取組等をより多くの方に知っていただけるよう紹介して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふじのくに魅力ある個店」登録制度によるWEBサイトで店舗をPR。また、専門家による販路開拓支援等の事業活用が可能。</li> </ul>
<b>○自動車試験コースの整備（1月16日 湖西市）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内には、自動車メーカーに提出する性能検査をするのに、十分なテストコースがないので、試験コースを整備してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストコースに関する県内企業の需要や国内外のテストコースの整備・運用状況を調査するとともに、専門家やメーカー、関係市町などと連携して具体的な対応策を検討する。</li> </ul>
<b>○県境にある焼却炉の排煙（1月16日 湖西市）※傍聴者</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊橋市の産廃焼却炉の排煙に悩まされている。ダイオキシンの数値も高いが、県外施設であるため対応に満足できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖西市県境でのダイオキシン類測定を継続するとともに、令和元年5月に7日間の連続測定を実施。湖西市、豊橋市と協力し対応していく。</li> </ul>
<b>○さまざまな人権への配慮（1月16日 湖西市）※傍聴者</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTの方が、「男も、女も」という広報物への記載に違和感があると発言されているのを聞いた。LGBT等への配慮により、県や市の人口も増えるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発指導員による出前講座等、啓発活動を継続し、理解の促進に努めていく。</li> <li>・令和元年度の県政世論調査、人権に関する県民意識調査の調査票性別欄に「その他（）」の選択肢を追加。</li> </ul>

いただいた御意見等	対応
○吉原祇園祭のPR（1月25日 富士市）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化や祭りを発信する機会に、東海一の祇園祭を紹介してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月下旬に県内で開催予定の東海道五十七次交流会でのPRを検討していく。</li> <li>・パンフレット配架やポスター掲示に協力していくとともに、観光情報サイトでの情報発信の継続と、公式 facebook 等を活用した情報発信をしていく。</li> </ul>
○外国人児童や家族への支援（1月25日 富士市）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の加配や、日本語教育の充実により、受け入れ態勢や学習面での支援を厚くすることや、親や子どもたちの悩みを聞いてあげることをしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場の加配教員や日本語指導にあたる非常勤講師を増員するとともに、外国人児童受入校を支援する日本語指導コーディネーターを増員。</li> <li>・11 か国以上の言語で、外国人県民に対する情報提供・相談を実施する窓口を整備。</li> </ul>